

3 絵図〔日光東照宮二百回忌法会関係カ〕

年不詳（近世カ）
縦 29.0 cm × 横 41.0 cm（原寸）

沼田藩士岐家家臣加藤家に伝来した絵図で、文化 12 年（1815 年）に執り行われた徳川家康二百回忌法要のものと思われます。絵図に見られる「御石之間」の記述と参加者の規模から日光東照宮で催された法要の座席図と考えられます。輪王寺宮を筆頭に天台宗の主な門跡をはじめ、千人以上の僧侶が参加して盛大に執り行われたようです。死後 200 年を経てもなお、家康が特別な存在であったことを窺わせる史料です。

加藤史夫家文書 P1706 No.819

